

ぶらりらいぶらりい

～図書室にはこんな本があります～

No. 65

★ 利用者からの質問をもとに昭和館図書室の資料を紹介します。
(書名の後の()の数字は請求記号です。)

問 米軍が昭和20年頃に散布した宣伝ビラで「アメリカの声」というビラがあったが、これが正確には、いつ散布されたかを知りたい。

答 「ビラ」「伝単」で検索してみます。

図書 → ことば検索 → 宣伝ビラ (70件該当)

図書 → ことば検索 → 伝単 (70件該当)

このどちらにもヒットしている資料で、
『東京大空襲・戦災誌 第3巻一軍・政府(日米)公式記録集』
(210.75/To46/3 開架)

に「宣伝ビラに関する報告」があり、何時、どの地域にどのようなビラがまかれたか、といった概況が記載されていて、現物の写真が載っているものもあります。

ちなみにこの質問の「アメリカの声」が散布されたのは、昭和20年5月21日で、地域は不詳とあります。

図書室には、書棚に並んでいる図書以外にもたくさんあります。
検索端末を使って、読みたい本を探してみてください。
操作方法等がわからない場合は、カウンター職員までお気軽に…。

・・・もう一冊！！！！・・・63

うとうと・・・していて、急にハッと目が覚めることがあります。筆者が、ハッとして周りを見ると授業中、工作中、電車の中、そして図書館の閲覧室・・・いろいろ思い出があります。いつも本を持っていたような気がします。本を初めて買って貰ったのは何時だったか？幼稚園のころは『ひかりのくに』という絵本のような雑誌を見ていました。小学校へ入ると『ぼくら』『少年』『冒険王』といった月刊少年雑誌が出ていて、10種類以上の付録が毎月付いていたものです。鉄腕アトムや鉄人28号の連載が始まり、これがお気に入りでしたから、読んでいたのは『少年』です。単行本では講談社の少年少女世界名作全集（だったと思う）の『ギリシャ神話』、また、同じ講談社の少年少女世界科学冒険全集の『宇宙探検220日』とかを何度も読んだ記憶があります。こんな神話と空想に浸っていれば、筆者のような非現実的な人間が出来てしまうのも無理ありません。小学生のころから古本屋通いも始まり、一人前の顔をして黒々とした本棚を眺めていました。その頃から・・・もう一冊・・・を探す人生だったのです。

もう一冊を探す中で、あちこちで、もう一冊を探している、たくさんの人とめぐりあいました。真剣に調べ物をする人は、必要な本を“実際に手にして確認したい”のです。筆者は仕事柄そういった人の一冊も探したりしました。これはレファレンスと同じで、探している人の要求に、ぴったりの本や回答を見つけてあげられたときの嬉しさは、図書館員なら誰でも感じる嬉しさです。

1990年、比較文学研究家の島田謹二氏が『ロシヤ戦争前夜の秋山真之』を出したとき、神保町の学士会館で出版記念会がありました。当時、島田氏は90歳でした。ブックマニアでもあった島田氏の話をも、向かい側の前の席だった、司馬遼太郎氏が奥さんと一緒に楽しそうに聞いていました。島田氏の本の後書に、海軍に精通している午睡さんに助けられた。とあったのを見て、司馬さんが筆者に、「私も午睡さんに相談すればよかった」と言って笑っていたのが思い出されます。今は両氏とも故人です。

もう一冊を探す毎日楽しく、ずっと続けるつもりです。でもチョット休憩も必要かもしれません。しばらく昼寝をしますので、“もう一冊”はお休みします。また昼寝から目が覚めたら、チョット顔を出します。長い間ご愛読ありがとうございました。

お休みなさい。

(午睡)



—図書室から—

恒例の桜の季節がやってきます。今年は入学式あたりが満開の予想ですが、どうでしょうか。開花が待ち遠しい毎日です。

*「ぶらりらいぶらりい」がリニューアルします。

2号から65号まで続いた「もう1冊！」が今回をもちまして終了いたします。

4月より毎回図書室の身近な話題を中心に構成したいと思います。ご期待ください。

ぶらりらいぶらりい ～図書室にはこんな本があります～ No. 65

2005年3月10日 発行

編集・発行 昭和館 図書室

〒102-0074 東京都千代田区九段南1-6-1